

News Release

地域経済活性化支援機構

2016年3月8日

【青函活性化ファンド】 株式会社吉田屋に対する投融資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構と株式会社北洋銀行で組成した地域活性化ファンド（名称：青函活性化投資事業有限責任組合、以下「本ファンド」という。）は、株式会社青森銀行との協調融資により、株式会社吉田屋（以下「当社」という。）に対する投融資を実行しましたので、お知らせいたします。

当社は、青森県八戸市に拠点を置き、1892（明治25）年の創業以来124年に渡って駅弁販売を営んでいる老舗であり、鯖と紅鮭を使った代表商品「小唄寿司」をはじめとする八戸近海で水揚げされる新鮮な魚介類や東北地方のブランド牛肉をふんだんに使用した駅弁は、毎年1月に開催される全国駅弁大会でも常に売上上位を維持するなど、根強い人気があります。また、昨年開催の「惣菜・べんとうグランプリ 2015」では「復幸炙りかきとうにめし」が、駅弁部門で最高賞の金賞を受賞し、全国的にも高い評価を得ています。

当社は、北海道北斗市出身の創業者吉田亀五郎氏が、八戸駅開業の翌年に同駅構内で、握り飯と沢庵だけのシンプルな弁当をホームで立ち売りしたことから始まりました。

今般、本年3月26日の北海道新幹線開業にあわせ、創業者の出身地である北斗市に開設される「JR新函館北斗駅」に新形態の店舗「BENTO CAFÉ 41°GARDEN」（参考資料1）を出店する運びとなりました。この新店舗の目玉商品は「大玉ほたてと大漁ウニ弁当」（参考資料2）であり、北海道産の特大サイズのほたてはぷりっと肉厚で、溢れんばかりのウニとの相性は秀逸です。また同店舗はカフェスタイルになっており、駅弁のほかにも、地元道南の厳選素材を使った選べる惣菜弁当・カフェ等をその場で楽しむことができます。さらに国内外で数々の受賞歴を持つ人気パティシエの辻口博啓氏とのコラボレーションによるスイーツも販売予定で、同店舗におけるもう一つの魅力になります。

本件は、新店舗の出店に際し必要となる開業資金の一部を本ファンド及び青森銀行から協調融資することで、弁当販売等を通じた青函地域の魅力の向上と当該魅力の発信を通し、観光客の増加や地域雇用の拡大に貢献しようとするものです。

今後も、本ファンドは、青函地域の活性化に資する事業への成長資金の供給等を通じて、地域経済の活性化を支援してまいります。

投資先の概要は以下の通りです。

企業名	株式会社 吉田屋
本社所在地	青森県八戸市一番町1丁目2-1
代表者	吉田 広城
事業内容	駅弁製造販売、仕出し、注文弁当
ホームページ	http://koutazushi.com/

【参考資料】

1. 新店舗「BENTO CAFÉ 41°GARDEN」



2. 新商品「大玉ほたてと大漁ウニ弁当」



3. 新店舗での販売予定商品(一部)



以上

＜お問い合わせ先・ご相談の連絡先＞

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部: TEL 03-6266-0590